岩盤ボーリング柱状図

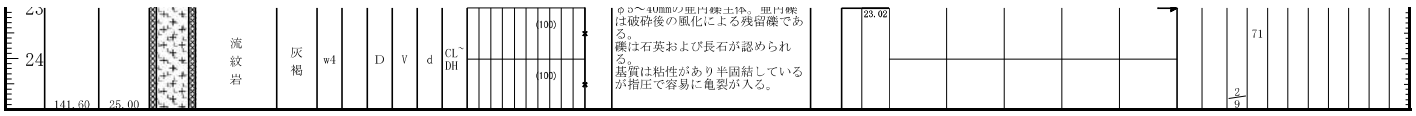
調　　査　　名　災関砂防中ヶ原川測量調査設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-5	**調査位置**	広島県呉市　呉市所管内			**北　緯**	34° 18′ 11.00″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2019年　1月 30日 ～ 2019年　2月　9日	**東　経**	132° 42′ 45.12″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 166.60m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90°東 180°南 270°西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直90°	**使用機種**	**試錐機**	KR-100H		
総削孔長	25.00m								**エンジン**	NFAD9	**ポンプ**	ヤンマーCP30

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 ×(%) 最大コア長 ○ cm RQD —[%]	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 N値	標準貫入試験 深度－N値 図	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度（cm／h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L／min）	排水量（L／min）
1				土石混じり砂礫	暗灰～褐							7 (100) / 4 (100) / 8 (100) / 12 [22] (100) / 14 [25] (100) / 15 [15] (100) / 16 [32] (100) / 6 (100) / 15 [49] (100) / 8 (100) / 11 [11] (100) / 4 (100) / 17 [17] (100)		暗灰色の流紋岩玉石と褐色の砂および砂礫が繰り返す。 玉石の混在比５割以上。 玉石のコア長は7～16cm。 玉石の岩片は硬質でハンマーヘッドで軽音を発する。 砂礫はφ5～40mmの角礫主体。 基質は砂，分級の良い部分と分級の悪い部分が混在する。 一部粘土を混入する。 GL-10.5mおよびGL-11.6mに花崗岩質の岩片を混入する。	02/02 1.60	25/30 1.15 / 1.45 / 50/30 2.15 / 2.45 / 50/90 3.40 / 3.19 / 50/10 4.05 / 4.06 / 50/190 5.15 / 5.34 / 50/20 6.05 / 6.07 / 40/30 7.15 / 7.48 / 50/50 8.15 / 8.20 / 50/0 9.00 / 9.00 / 50/70 10.15 / 10.22 / 50/100 11.15 / 11.25 / 50/250 12.15 / 12.40 / 50/130 13.15 / 13.28 / 50/80 14.15 / 14.23 / 45/30 15.15 / 15.45 / 50/300 16.15 / 16.45 / 50/20 17.05 / 17.07 / 50/190 18.15 / 18.34 / 50/50 19.05 / 19.10 / 50/100 20.15 / 20.25 / 50/190 21.15 / 21.34 / 50/150 22.15 / 22.27 / 50/20 23.00 / 23.02			1/31	55 / 60 / 55	86/B2			0.1	W2/2	2
2																				2/1	63 / 55				0.1	W2/2	0
3																											
4																											
5																											
6																				2/2	60				0.1	W2/2	2
7																											
8																											
9																											
10																											
11																				2/4	55 / 60						
12																											
13	153.60	13.00																									
14				流紋岩	褐／褐灰	w5		E	VI～VII		DM			砂礫状コア。 指圧で崩れ砂～シルトおよびφ2～8mmの細礫が残る。 礫は硬質で暗灰～橙色の比較的新鮮な岩片。 花崗岩片および流紋岩片が混在する。						2/5	67 / 63						
15																											
16																				2/6	67 / 63						
17																											
18																				2/7	60 / 67						
19	147.60	19.00			灰褐			D	V～VI		DH			花崗岩質流紋岩。 細礫～砂状に破砕している。 石英や長石が残留する。 有色鉱物は粘土化している。 GL-21m以深で礫混り粘土状～砂状となる。														
20																											
21																				2/8	71				0.1	W2/1	1
22	144.35	22.25																									
23					灰褐	w4			V		CL～DH			破砕による粘土混り砂礫状コア。 φ5～40mmの亜円礫主体。亜円礫は破砕後の風化による残留礫である。 礫は石英および長石が認められる。														
24																											


23
24
141.60
25.00
流紋岩
灰褐
w4
D
V
d
CL~DH
(100)
(100)
φ5～40mmの黒色礫主体。黒色礫は破砕後の風化による残留礫である。
礫は石英および長石が認められる。
基質は粘性があり半固結しているが指圧で容易に亀裂が入る。
23.02
71
2/9